



熱海土石流の被害を受けた伊豆山地区。大量の土砂により、まだ立ち入りが禁止されている地区もあり、生活再建を阻む、大きな要因となっています。



食料などの物資を避難所に届けるスタッフ(佐賀)

令和3年夏 豪雨

**熱海と佐賀 2拠点で緊急支援**  
見えないニーズを引き出す隙間の支援

今夏もまた、大規模な災害がたくさんの人の平穏な日常を襲いました。

2021年7月3日、静岡県熱海市で大規模な土石流が発生。標高400メートルから伊豆山港まで約2kmに及び土石流の流路は、東海道新幹線の線路によって堤防のようにせき止められ、今も大量の土砂を前に行方不明の方の捜索が続いています。土砂は地区を分断し、不便な交通状況が人々の生活再建を阻んでいます。熱海市では観光地ならではの施策として、“ホテル避難所”が開設されましたが、見えにくい在宅避難者のケアや長引く避難生活を支える支援が引き続き必要です。

また、8月11日頃から降り続いた大雨により、全国各地で河川の氾濫や土砂災害が発生。多くの方が被災し、Civic Forceが事務所を置く佐賀県でも、2年前の佐賀豪雨で浸水した地域が再び被害に遭いました。コロナ禍で被災地の人手不足が深刻な課題となる中、佐賀県では早急な復旧を目指し、一定基準の感染対策を講じて、支援団体を受け入れています。

Civic Forceは、国内外から寄せられたご支援を、少しでも早く最適で被災地に届けるため、熱海と佐賀の両地域で緊急支援活動を続けています。今号のニュースレターでは、被災地の状況や支援活動の動き、そして被災地で出会った皆さんからのメッセージをお伝えします。また、Civic Forceはこのたび、佐賀に事務所を構えるNPO、A-PADジャパンと統合し、頻発・激甚化する自然災害に対応できる組織を目指します。

8月9日、IPCC(国連気候変動に関する政府間パネル)が発表した報告書で、温暖化の原因は人間活動によるものと断定され、洪水や干ばつなどの異常気象が今後ますます頻繁に起こると警告されました。Civic Forceは、引き続き皆様の応援を力に、被災地での活動を続けます。

**CONTENTS** .....

**被災地を支援する**

p2-4... 令和3年夏 豪雨

p5... 新型コロナウイルス感染症

p6... 東日本大震災

**緊急即応体制を創る**

p7... **A-PADジャパンと統合**

7月3日、静岡県熱海市で大規模な土石流が発生。  
Civic Forceは被害を受けた伊豆山の浜地区、仲道地区、岸谷地区や避難所などで暮らす被災者に向けて支援活動を続けています。  
また8月には降り続く大雨により九州など広範囲で浸水被害が発生。  
Civic Forceが拠点を置く佐賀県で緊急支援を行っています。

**熱海**

7/3

**熱海で土石流発生**



**熱海**

7/7~ 物資支援開始

災害ボランティアセンターや町内会などからの要請を受けて、マスク、アルコールジェル、肌着、氷、蚊取り線香、歯ブラシセット、弁当、ヘルメット、ブルーシート、懐中電灯、清掃用品、洗剤などを届けています。



**学用品支援**

「学用品が流された」「制服がカビだらけ」。被災した児童・生徒たちの声を聞き、体操着、ジャージ、靴など要請のあった約92アイテムを支援しました。

**佐賀**

8/14 8月豪雨



広範囲で大雨が降り続き、8月14日、64万世帯以上に警戒レベル5にあたる「緊急安全確保」発令。川の氾濫や浸水被害を受けて、Civic Forceは事務所を構える佐賀県で緊急支援活動を開始。スタッフも浸水被害に見舞われましたが、避難所や在宅避難を続ける被災者のニーズを確認しながら支援を続けています。

**佐賀**

8/15~ 緊急支援物資の配布開始



自宅や事業所の浸水など甚大な被害を受けた地域に食料や飲料、感染・暑さ対策などの緊急支援物資を配布。配布に当たっては、災害時連携協定を提携する佐賀市や大町町、武雄市の自治体や地域住民の皆さんと協力しています。

**避難所などに以下の支援物資をお届け中**


衛生キット/枕/大判タオル/ランタン(貸与)/電池/扇風機(貸与)/野菜・フルーツジュース/お茶・ジュース/紙コップ/割りばし/インスタント味噌汁・スープ/カップ麺/ドリップバッグ珈琲/虫よけスプレー/かゆみ止め/肌着・下着/Tシャツ/サンダル/乳幼児用食料/食品用ラップ/消臭スプレー/生理用品/バケツ/長靴/台所用漂白剤/土嚢袋/ショッピングバッグ/タオルケット/ゼリー飲料/アルコールハンドジェル/からだ拭き用大判おしぼり/スポーツリンク/ドライシャンプー/非常食ゼリー/ブルーシート/からだ拭きシート/マットレス/寝具

支援物資の多くは連携企業から無償でご提供いただいています。詳しくはこちら▶



**熱海**

7/5~ 緊急支援開始



降り続く大雨の影響で、静岡県熱海市で大規模な土石流が発生。Civic Forceは5日からスタッフを派遣し、被害を受けた伊豆山の浜地区、仲道地区、岸谷地区や避難所などで暮らす被災者に向けて緊急支援活動を開始しました。

7/6 発災から72時間 1,100人態勢で捜索

7/18 第1回支援団体 情報交換会

7/7~ 物資支援開始

7/21 災害ボランティアセンター、ボランティア派遣開始

8/6 公営住宅への入居開始

8/11 一時帰宅再開

8/15 第1回支援団体 情報共有業障会議

8/18 床上・床下浸水被害想定 約2500戸

8/15~ 緊急物資支援の配布開始

物資支援は現在も継続中

2021年 7月

7/4 市内2カ所のホテルに 554人避難

7/12 立入禁止区域の一時帰宅

7/29 国道135号の通行止め解除 被災者向け説明会


2021年 8月

8/14 六角川が氾濫、佐賀県内137避難所に 1,900人避難

8/21 大町町と武雄市の災害ボランティアセンター、ボランティア派遣開始


**熱海**

7/19~ 移動支援開始




**送迎車**

「避難所から学校が遠く、子どもたちの送迎が大変」などの声を受け、7月19日から、避難所や地域各所と学童を結ぶ送迎車両を運行しています。地元企業の熱海第一交通と協力して、朝夕合わせて3便のミニバンを運行中。



**タクシーチケット**

7月21日から無料のタクシーチケット(1,000円×6枚/1人)の配布を開始しました。町内会や地元タクシー会社など地域の皆さんと連携し、浜会館と仲道公民館、岸谷地区、避難所などで配付。これまでに約120人の方に利用されています。

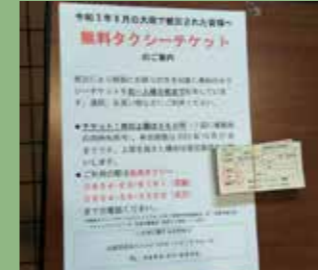


**往復バス**

土石流の影響で路線バスが減便されていた7月23~31日、伊豆山地区・七尾団地から隣町の湯河原までを結ぶ無償の臨時バスを運行。買い物スポットや公民館など8カ所に停車する往復便を1日1便運行し、足の不自由な方などに利用されました。

**佐賀**


8/17~ タクシーチケット 配布開始



移動にお困りの方の通院や買い物の足として活用いただくためのタクシーチケットを大町町や武雄市の避難所などで配布中。地元企業の大町タクシーと協力。

**佐賀**

8/18~ 高圧洗浄機を貸与



福岡県久留米市の社会福祉協議会へ高圧洗浄機5台を貸与。このほか、暑さ対策の扇風機やランタンなど備蓄物資を随時避難所などへ貸し出しています。

**熱海・佐賀**

9月~ 「NPOパートナー協働事業」開始

Civic Forceの復興支援プログラム「NPOパートナー協働事業」では、9月から熱海と佐賀で以下の2団体と連携プロジェクトを開始しています。

**チーム熱海IZUSAN準備会(仮称)**

地元有志による復旧活動と復興まちづくりの取り組みをサポート

**ガラバゴス(佐賀・武雄)**

発達障がい児などが通う放課後等デイサービスの事業再開支援



# VOICE

被災地で出会った  
皆さんからのメッセージ

本当に必要な支援を届けるために、被災した方の声を聞き、見えにくいニーズや困りごとを引き出すコミュニケーションを大切にしています。そんな私たちの原動力は支援を届けた人の笑顔やあたたかいメッセージ。支援先で聞いた「声」の一部を紹介します。

## 「やっと買い物に行ける」

— 無償臨時バスを利用した女性（熱海）



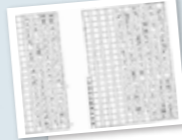
猛暑の中、届けた水



物資支援



坂の先へ弁当を届ける



子どもたちから届いた  
お礼の手紙

## 「子どもたちにとって 大きな励みになります」

— 学用品を届けた学校の校長（熱海）



## 「事務所は浸かったけど車両はある。 また一緒にやりましょう」

— 無料タクシーチケット配布で連携したタクシー会社社長（佐賀・大町）

## 「来てくれてありがとう！」

— 物資を届けた避難所スタッフ（佐賀・武雄）

## 「カレーおいしいね！ おかわり！」

— できたてカレーを食べた子どもたち（熱海）

## 「これがあれば 病院に通える」

— タクシーチケットを  
受け取った男性（熱海）



感染対策のアルコール



備蓄物資を避難所へ



困りごとを聞き取る

## Column コラム

### コロナと災害

## 避難所体験会の経験と つながり

災害時に迅速な支援を届けるため、Civic Forceは「平時の備え」として企業や自治体などと災害時連携協定を締結しています。その一つ、佐賀県の大町町と武雄市が今年8月の豪雨で甚大な被害を受けました。両市町は、いずれも2年前の佐賀豪雨で被災し、ようやく落ち着きを取り戻したばかり。再び浸水被害にあった人は大きく肩を落としています。他方で災害の教訓が生かされた面もありました。

例えば、大町町とCivic Forceは8月1日、「コロナ禍の避難所はどうなる？」をテーマに避難所体験会を実施。検温・消毒を含む「受付訓練」や公民館内の備えを確認する「避難所ツアー」、感染症を防ぐパーティションの「設営体験」を行いました。体験会からわずか2週間後に起きた今回の水害で、大町町では比較的スムーズな避難所運営が実施され、避難者の皆さんの安心にもつながっています。



大町町公民館で実施された体験会。参加した住民は「改めて備えを考える良い機会になった」「感染対策の装備も用意されていて安心」などと話していました。

# 新型コロナウイルス感染症

被災地を  
支援する 2



NPOパートナー  
協働事業

長引くコロナ禍において深刻な影響を受ける

全国の災害被災地を、独自プログラム「NPOパートナー協働事業」を通じて応援しています。

2020年5月から2021年9月までに東北や九州など9団体と連携し、現在以下5団体と協働。

また、東北や九州のNPOを通じて、困窮する世帯や福祉施設・事業所などにアルコールジェルや消毒液などの感染対策グッズなどを届けています。

## 日本YWCAカーロふくしま

### 学習支援の場「カーロでスタディ」

1

コロナ禍における小中学校の臨時休校措置は、子どもたちの学力やコミュニケーションに大きな影響を与えています。東日本大震災以降、福島の子子どもたちが抱える多様な課題と向き合ってきたカーロふくしまは、コロナ禍でも子どもたちが安心して通える学習支援の場を提供しています。



## 石巻復興支援ネットワーク(やっぺす)

### 復興住宅の孤立化を防ぐ支援

2

東日本大震災で被災した宮城県石巻市で、復興住宅に暮らす高齢者への支援を続けるやっぺす。コロナ禍でさらなる孤立化が懸念される中、感染対策の上、遠足の企画や自宅を取り組める脳トレドリルの配布、ヨガ動画の作成・配信などの取り組みを通じて、交流の機会を絶やさないよう活動しています。



## 被災地NGO協働センター

### 地域発・日本版「POSKO(ポスコ)」

3

「POSKO(ポスコ)」とは、災害の多いインドネシアのことばで、災害時に市民の間で自然発生的に立ち上がる支援拠点のこと。住民が集まる詰所は、長期的な視点からも復旧・復興の要となります。本事業では、2020年夏に豪雨被害を受けた熊本県人吉市で生まれた地域発の取り組みを応援しています。



## 全国25団体にアルコールジェルを提供

4～6月、「NPOパートナー協働事業」の連携先25団体にアルコールジェル12,536本を届けました。ジェルは「コロナ禍で苦しい状況にある人へ」と五洋医療器とロクシタンジャパンからご提供いただき、子ども食堂や復興住宅、福祉施設などを通じて困窮家庭や留学生などに配布。ネイチャーラボご提供のシャンプー&トリートメントも23団体に届けました。



「ご支援は心の励みにもなります」とお礼メッセージが届きました。

## TEDIC

### 子どもたちの居場所づくり

4

宮城県石巻市を拠点に活動するTEDICのビジョンは「どんな境遇に生まれた子どもも自分の人生を自分で生きることができる社会をつくる」。東日本大震災以降、放課後の居場所づくりや学習支援などを続けてきた経験を元に、コロナ禍でより一層厳しい環境に置かれている子どもたちをサポートしています。



## World Open Heart(WOH)

### コロナ差別緊急ホットライン受付中

5

コロナの影響で社会的差別を受け悩みを抱える人の相談を受け付ける「コロナ差別緊急ホットライン」。医療や法律、生活面の相談窓口はすでに全国で設置されていますが、世間の不当な差別に苦しむ人のための窓口はまだ少なく、Civic Forceはこの隙間の支援に挑むWOHとの連携で、差別や偏見の根絶を目指します。



## Highlight ハイライト..... 2020年2月～

2020年2月、空飛ぶ捜索医療団「ARROWS」の一員として、新型コロナウイルス感染症の緊急支援活動を開始。これまでに以下のプロジェクトを実施しています。

- **医療・福祉施設へマスクや医療資機材を提供**  
災害支援用に備蓄していたマスク140万枚や防護具などを全国の病院や福祉施設などにお届けしました。
- **病院にトレーラーやテントを貸与・設置**  
要請のあった病院の敷地内にトレーラーやテントを設置し、感染拡大防止に貢献しています。
- **医療・福祉施設への人員派遣**  
クラスターが発生した病院や福祉施設などにスタッフを派遣し、ゾーニングや清掃などをサポート。



# 東日本大震災

被災地を支援する **3**

広範囲に甚大な被害をもたらした東日本大震災。時間の経過とともに復興の動きが着実に進む一方、時が経ったからこそ見えてきた課題や新たな問題が浮上しています。Civic Forceは今、「コミュニティ再生」「福島・保養」「記憶の伝承」の3テーマを軸に、被災した地域のNPOなどと連携して若い世代のための新しいまちづくりを応援しています。新しい連携先の活動についてご紹介します。

## 新規プロジェクト

おはこぎき市民会議  
漁業の担い手を育て、地域を活性化

岩手県釜石市の箱崎半島部に位置する釜石東部漁協管内の8地区(両石・根浜・箱崎・片岸・白浜・室浜・桑の浜・仮宿)の有志が連携して設立されたNPO法人おはこぎき市民会議。100年先を見据えた安心安全で持続可能な復興まちづくりを目指しています。Civic Forceとの連携事業では、6月から漁業者の担い手育成事業「漁業の学舎(ウミノガッコウ)」の運営をサポート。子どもたちが漁業に触れる機会を増やし、将来の漁業を担う人を育て、釜石や三陸沿岸の活性化を目指しています。



こそだてシップ  
ラジオ番組「ままたラジ」で発信

9月1日は防災の日。岩手県大船渡市や陸前高田市で妊産婦や親子のサポートを続けるこそだてシップは、毎年、防災グッズの展示会などを開催しています。今年はコロナの影響で、やむなく中止を決定。「現在活動をおやすみしていますが、地元ラジオやSNSを通じて防災の大切を伝えています!」

FMねまらいん「ままたラジ」  
放送:毎週月~木曜 14:40~



## Highlight ハイライト

9月は防災月間です。もう一度、ご自宅の防災グッズを見直しませんか?佐賀県のふるさと納税の寄付先に指定されているCivic Forceは、返礼品の一つとして、「非常用衛生キット」をご用意しています。

https://www.furusato-tax.jp/product/detail/41001/4964814/107  
また、避難所で使える感染症対策ポスターと、コロナ差別防止の啓発ポスターをお配りしています。  
ご希望の方はpr@civic-force.orgへ。



Close Up! クローズアップ

## NPOパートナー協働事業 連携76団体106プロジェクト

災害は多くの被害をもたらしますが、そこから復興しようとする社会では、被災を乗り越え、より良い社会をつくるために、人と人の新しい関係や今までにない試みがたくさん生まれます。東日本大震災をきっかけに生まれたCivic Forceの「NPOパートナー協働事業」は、地元の人々の声をききながら、行政による助成金ではカバーされない領域や時期の新しい動きを応援し、育て、また継続するためのサポートをしています。2011年から2021年8月までの連携実績は、76団体と106プロジェクト。保健医療から教育、エネルギー、観光、災害に強いコミュニティづくりまで幅広い領域をカバーし、新しい社会の土台づくりに貢献しています。

連携先一覧(2021年9月時点)

- 東日本大震災 石巻復興支援ネットワーク/311受入全国協議会/相馬救援隊/三陸ひとつなぎ自然学校/こころスマイルプロジェクト/こそだてシップ/おはなしころりん/しんせい/おはこぎき市民会議
- COVID-19 日本YWCAカーロふくしま/石巻復興支援ネットワーク/被災地NGO協働センター/TEDIC/World Open Heart
- 令和2年7月豪雨 あまみら
- 台風19号(2019年) しなの長沼 お屋敷保存会

## Archive アーカイブ



2011年3月11日の東日本大震災発生直後、Civic Forceは連携する静岡県袋井市の倉庫から支援物資を移送するとともに、企業各社へのよびかけを開始し、翌12日にチャーターヘリで被災地に入りました。以降、宮城や福島、岩手の被災地内外で様々な支援活動を展開しました。

- 中長期復興支援事業
- 産業復興支援基金事業
- 大型カーフェリー就航事業
- 緊急支援物資の大規模調達・配送事業
- 社員ボランティア派遣事業
- NPOパートナー協働事業
- 多目的・稼働型拠点提供事業
- 手作り風呂呂設営・運営事業

## 緊急即応体制を創る

大規模災害時の緊急即応体制を整えるためのさまざまな取り組みを行っています。メディア掲載や協力企業・団体の皆様の関連情報もお知らせします。

Member of  
ASIA  
PACIFIC  
ALLIANCE  
FOR DISASTER MANAGEMENT

## A-PADジャパンと統合しました

Civic Forceは、佐賀県を拠点に活動する特定非営利活動法人アジアパシフィックアライアンス・ジャパン(A-PADジャパン)と統合しました。九州各地の災害において、前線で活動を行ってきたA-PADジャパンとの統合により、近年頻発・激甚化する災害に対応できる組織体制を構築します。なお、Civic Forceは、2012年からアジア6カ国の災害支援プラットフォームが参画する国際組織アジアパシフィックアライアンスのメンバーです。

## 「ふるさと納税」でのご寄付は

A-PADジャパンとの統合に伴い、Civic Forceを指定して寄付ができる佐賀県ふるさと納税がご利用いただけるようになりました。佐賀県のふるさと納税(NPO等の支援)は、Civic Forceを指定して寄付することができ、寄付額のうち90%がCivic Forceに交付されます。通常のふるさと納税と同様に、控除上限額までなら寄付した金額から2,000円を引いた額について、住民税の控除と、所得税の還付(確定申告の場合)を受けられます。

https://civic-force.org/contribution/#furusato



## HPリニューアルのお知らせ

Civic Forceのホームページが新しくなりました。ぜひご覧ください。  
https://www.civic-force.org



## メディア情報

- 21.08.24 WEB Yahooニュース 「佐賀県と県内市町、8月豪雨災害支援で寄付募集」
- 21.08.19 TV サガテレビ 「佐賀県内の支援について」
- 21.08.02 新聞 読売新聞 「密を防ぐ避難所設営体験 大町 移動の流れ確認」
- 21.07.20 TV サガテレビ 「熱海の土石流現場で支援活動した女性」
- 21.07.06 新聞 佐賀新聞 「佐賀から熱海に支援物資 シビックフォース、スタッフの現地派遣も」

ほか多数

## 今年の豪雨被災地へご支援を

「令和3年大雨被災地支援(指定寄付)」受付中

- 銀行:三井住友銀行 青山支店 普通 7027403  
公益社団法人Civic Force(シャ) シビックフォース)
- ふるさと納税  
https://www.furusato-tax.jp/gcf/1370
- Yahoo!ネット募金  
https://donation.yahoo.co.jp/detail/3747020
- Readyfor  
https://readyfor.jp/projects/saga202108

## SNS

シビックフォース

- twitter  
https://twitter.com/civicforce
- YouTube  
http://www.youtube.com/civicforceorg
- facebook  
https://www.facebook.com/civicforce
- Instagram  
https://www.instagram.com/civicforce/

● ニュースレターのバックナンバーはこちら ▶ <https://www.civic-force.org/news/newsletter/>  
● メールマガジン「被災地の今を知る」登録 ▶ <https://www.civic-force.org/mailmagazine/index.html>

